

## 2014年度の入札不調発生状況と入札不調対策について

### 1. 2014年度の入札不調発生状況

中日本高速道路株式会社において、2014年度に入札を実施した250万円以上の工事の入札不調の発生件数は44件、発生率は13.0%となっています

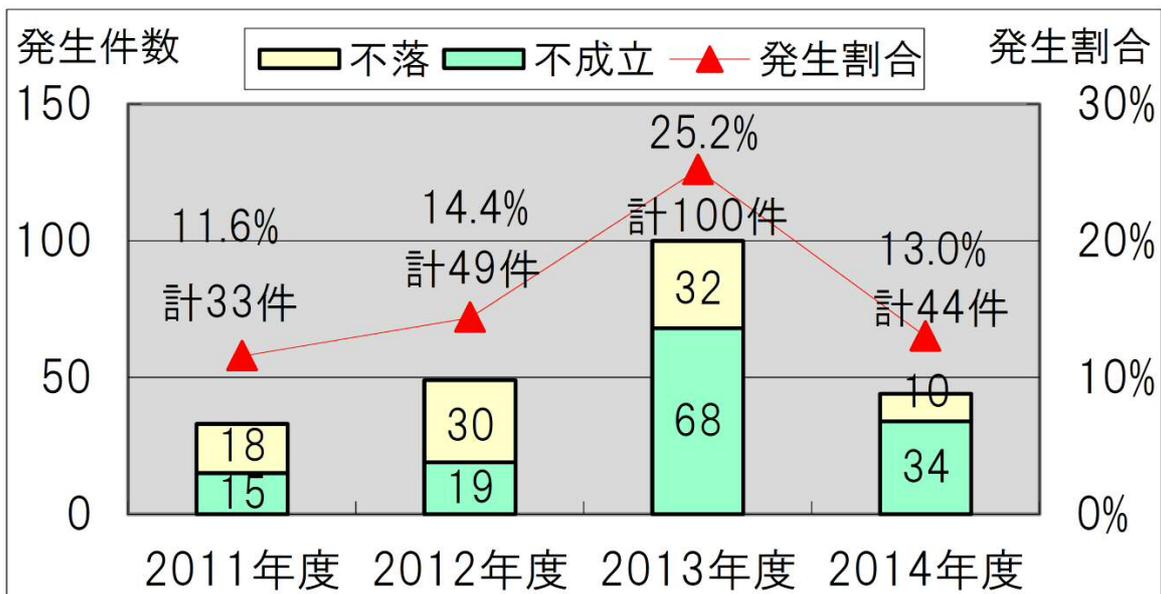
2013年度に入札を実施した250万円以上の工事の入札不調の発生件数は100件、発生率は25.2%となっており、2013年度に比べて入札不調発生率が大幅に改善しています。

なお、入札不調の多い工種は、昨年度に引き続き、土木工事や道路補修工事です。

入札不調の発生状況

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
工事入札執行件数※	285件	341件	396件	339件
入札不調発生件数	33件	49件	100件	44件
入札不調発生率	11.6%	14.4%	25.2%	13.0%

※ 競争入札等で契約金額250万円以上の件数



## 2. 主な入札不調対策

### ○不調特命見積協議方式の特例措置の実施

- ・当初入札が入札不調の場合に、「契約制限価格」を「契約目安価格」に読み替え、最低入札価格提示者など特定の1者を協議相手として選定し、見積書の内訳について確認協議を行い、協議相手より提出された見積価格が契約制限価格を上回った場合でも、協議後の価格で契約できる方式を導入（2014.3）

### ○市場動向を反映した積算基準の改正

- ・乖離の大きい橋梁下部工（コンクリート、型枠、支保工）やコンクリート構造物補修（剥落対策）などの関連する歩掛の見直し（2014.7）
- ・価格変動への細やかな追従の観点から、市場単価方式の適用拡大（種吹付け、ガードレール、床版防水工）（2015.4）
- ・国土交通省の一般管理費、現場管理費の改正に伴う諸経費の見直し（2015.5予定）

### ○工事管理の改善

- ・改正品確法の精神を盛り込んだ「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン」および「工事の一時中止ガイドライン」の見直し（2014.12）